

**令和4年度第1回遠野テレビ放送番組審議会議事録**

**遠野テレビ放送番組審議会**

会議名称	令和4年度第1回遠野テレビ放送番組審議会			
開催日時	令和4年6月22日（水）午前10時00分～午前11時30分			
会 場	遠野市役所とびあ庁舎 大会議室			
出席委員	会 長	菊池 武彦	委 員	立花 和子
	副会長	石直 亮彦	委 員	小笠原 康友
	委 員	松田 奈美江	委 員	菊池 豊
	委 員	千葉 眞由美	委 員	菊池 保夫
	委 員	小笠原 晃	委 員	中村 孝子
	委 員	菊池 タキ	委 員	菊池 崇
有線テレビジョン放送施設者・放送事業者	市長 多田 一彦 総務企画部経営管理担当部長兼情報推進課長 佐々木 啓			
事務局	情報推進課	課 長	佐々木 啓	
		副主幹	濱田 卓也	
		課長補佐	佐々木 利幸	
		主 任	菊池 陽一朗	
	遠野テレビ	代表取締役専務	佐々木 浩章	
		報道制作グループサブマネージャー	菊池 裕	

会議の経過及び審議結果

**1 辞令交付（情報推進課長）**

本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

開会に先立ちまして、辞令交付を行います。

なお、任期は2年となっております。よろしくお願いいたします。

《市長から委員12名に辞令書を交付》

**2 開 会（情報推進課長）**

それでは、只今から、遠野テレビ放送番組審議会を開会いたします。

**3 市長挨拶（市長）**

皆さんおはようございます。お忙しいなかお時間をいただきまして本当にありがとうございます。ただいま辞令交付をさせていただきましたが、7名の皆様に引き続きお願いし、そして5名の新たな委員をお迎えしました。皆様にはどうぞよろしくお願いいたします。

先日までのFTTHの光ケーブル化整備工事が無事終わり、市内全域100%光ファイバーケーブルが敷設された環境となりました。これからのデジタル田園都市構想、DX化に向けた環境が整ったということになります。役所のほうでもワーキンググループを設置するなどそのスピードを高めていこうとしています。当然、機械のスピードも高めていかなければということです。これによって皆さんの生活が合理的になっていく、そのために今準備を進めているわけです。

また同時に番組も自主放送が増えていくと思います。その企画をどんどん今現場の方では新しい企画を立てております。できるだけ市民の皆さまに多くの情報をお知らせするというのと、楽しく市民の皆様の顔が見える遠野テレビにしていきたい

いということで頑張っています。それについてもその善し悪し、様々な意見を皆様からいただかなければいけないと思いますので、どうぞよろしくご指導をお願いしたいと思います。

これから1人1人チャレンジしていける遠野にするためには、チャレンジしている情報発信、遠野テレビになっていかなければなりません。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4 委員及び職員の紹介

《情報推進課長から委員及び職員を紹介》

#### 5 会長・副会長の選任

**課長**：それでは、会長及び副会長の選任に移ります。会長の選任まで、仮議長を多田市長が行いますので、よろしく申し上げます。

**仮議長**：会長が選任されるまでの暫時、議長を務めさせていただきますので、よろしく申し上げます。遠野市ケーブルテレビジョン放送条例第40条第3項の規定に基づく、会長の互選についてですが、どのような方法で選出しますか。推薦または立候補ございませんか。

「事務局案の声あり」

**仮議長**：それでは、事務局から案がありましたならばよろしく申し上げます。

**課長**：事務局案ということですが、菊池武彦委員にお願いしたいと考えております。

**仮議長**：菊池武彦委員という推薦でございますが、皆様いかがでしょうか。

「異議なしの声あり」

**仮議長**：異議なしということで、今期の会長は菊池武彦さんをお願いいたします。これをもって、仮議長の職務を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございます。

**課長**：以降の進行につきましては、遠野市ケーブルテレビジョン放送条例第40条第4項の規定に基づき、会長が会議の議長になることになっておりますので、菊池会長、よろしく申し上げます。

**議長**：この度、遠野テレビ放送番組審議会の会長を選任されました菊池です。委員2期目でまだ何もわからないですけれども、遠野市民に愛される番組をみなさんと審議していただければと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。会長が議長ということですので、進行して参ります。会長を補佐していただく副会長の選出についてお諮りしたいと思います。皆様、副会長について立候補またはご推薦ありませんでしょうか。

「石直委員が立候補」

**議長**：石直さんに引き続き副会長の職に立候補いただきました。ベテランの力強い方に立候補いただきましたので、副会長は、石直さんをお願いします。それでは、石直さん一言ご挨拶をお願いします。

**副会長**：前期に引き続き副会長を務めさせていただきます石直です。私は委員4期目となりますので、新たな会長を引き続き補佐していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

## 6 会議成立の報告

**議長**：それでは会議成立の報告について事務局から報告願います。

**課長**：委員 12 名中、本日の出席委員は 12 名です。遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例第 41 条第 2 項の規定により、過半数以上の委員に出席いただいておりますので、本日の審議会が成立していることをご報告します。

## 7 報告

**議長**：次に、報告に入ります。事務局から説明をお願いします。

※佐々木情報推進課長補佐が、資料の内容を一括説明。

- (1) 遠野テレビ自主放送番組の放送実績について
- (2) その他報告事項

**議長**：ただいま事務局より報告がありました。確認したいことはありませんか。無いようですので、最後にまとめて質問を受け付けることもできますので進めて参ります。

## 8 審議

### (1) 遠野テレビ自主企画番組（試写）

**議長**：次に、審議に入ります。審議項目として、遠野テレビ自主企画番組の試写があります。語り部『遠野物語』、まちなび～遠野さくら祭り～について試写いただき、委員の皆様からご意見をいただきますので、目をくぎ付けにしてご覧いただきたいと思います。

《遠野テレビ自主制作番組を視聴》

※視聴後、菊池報道制作グループサブマネージャーが自主企画番組制作のコンセプト等について説明。

**議長**： コロナ禍のなか角度を変えながら新しい番組作りを行っているとのことでした。せっかくの機会ですので、番組を視聴した率直な感想をご意見いただければと思います。特に初めて参加した方々は、新鮮だと思いますので積極的に発言をお願いします。忌憚のないご意見が新しい番組作りにつながると思いますのでよろしくをお願いします。

**松田奈美江委員**：

遠野物語を語りで聞く機会がなかなか無いので、遠野テレビで放送いただくと身近に感じます。全国的にも有名な遠野物語の中身はと言われると、遠野市民なのによその方に伝えることができるかという自信が無いので、学校などで語り部から何話かお話していただくことがあっても、ここまで全話 119 話を語っていただく機会はなかなか無いと思いますので、とても良い番組だと思いました。方言でしっかりと話されていて、語り部の話をじっくりと自分の中にかみ砕いて内容を想像して観ていました。対象として大人は楽しめると思いますが、私自身小さい子どもがいるので、4歳、5歳、小学校の子どもたちが観てどのような物語か想像できるかとなると語っている内容が難しいと感じました。挿絵のようなものがあるとわかりやすいのではないかと思いましたが、語り部による雰囲気を取って感じるというのも素敵なことだと感じたので、小さい子どもが触れるものが何か別に欲しいと感じました。

さくらまつりは、住んでいる中央通りを紹介していただいて、収録後ゴ

ールデンウィーク中にすぐ放送していただいたのも良かったと思います。番組のなかでもおっしゃっていましたが、近くにある気になっているお店になかなか足を踏み入れることがないので、店の中に入って雰囲気伝えていたのが良かったと感じました。遠野には新しいお店が、おしゃれな飲食店とか、ハンドメイドのお店ができていて、遠野でお店を開きたいと思って移住されてきた方たちも頑張っているのです、昔から営んでいるお店も紹介しつつ、移住して遠野のことをすごく勉強している人もいますのでそういった部分を取り上げると更に楽しい番組になるのかなと感じました。遠野に移住されてマンガを描いている方が、夢はマンガで遠野テレビに出ることと投稿されていたので、マンガで遠野を楽しく紹介している方でもあるので、そのような方達も紹介できる機会があったら良いと思いました。

**千葉真由美委員：**

今回の視聴では1話のみの放送でしたけれども、実際の番組放送の際には、2話3話連続して語っていただいています。遠野物語は史実を伝えたものが元になっていますけれども、119話の中にそれぞれの話が細切れとなっていますが、放送では関連するお話が組み合わせて語られていたため、関連する話を続けて聞くことで遠野物語の良さを感じたほか、関連しお話を続けて聞くことができすぎてすごく良いことだと思いました。

さくらまつりは、私はまちなかに住んでいないためこのお店どこにあるのって感じで、前回審議会の議事録に地名とかテロップで出してほしいと意見が出ていまして、今回のまちなびでは、石臼神社とかお店の名前は出ましたが、地域に住んでいないとわからないものが結構ありました。最後にでも巡ったルートの略図とか入れてもらえるとわかりやすいと思います。これに関しては、遠野タイムを観ている際に、移住されてきたガラス職人とかどこで活動しているかなど番組放送後にネットで調べたケースがあります。わかりやすく表示いただくことによって、行ってみようかな、声をかけてみようかなということも考えることができます。遠野市内でも知らない地区もたくさんありますので、ご紹介いただけるとうれしいです。

**小笠原晃委員：**

普段なかなか観ることができない語りをテレビで観ることができ良かったと思いました。撮影、編集が上手で雰囲気が伝わりました。語り部の堀切さんがすごく上手で、よく聞かないと訛りでよくわからない部分もあったので、確かに字幕とかがあれば幅広い年代に受け入れられると思います。ただ1話1話が簡潔で観やすいと思いました。間にはCMも入りましたが、CMも新しい感じがして良かったです。

まちなびですが、縄文インフルエンサーとしても頑張っているアベマホコさんが元気でいいなと思いました。小笠原さんとの掛け合いも楽しくて観やすい番組です。新しいお店のBrew Noteも気になっていたのも、取り上げてもらってうれしかったです。撮影から放送までのレスポンスが早かったということで、今後もそのような形でよろしくお願いします。

**石直亮彦委員：**

遠野物語は率直に何を言っているのかわかりませんでした。字幕が必要かなと思いました。訛りは良いが、70代以上しか通用しないので敷居が高くなっていると感じました。他の委員からもお話がありましたが、語り部だけでなく途中で挿絵に切り替わるなどすれば良かったと思います。語りの前に、導入として簡単な内容の説明をしてから語りに入っても良かったと思います。

まちなびですが、2人の話がなかなか入ってこなかったのも、テロップが必要だと思いました。まちなかで色々紹介しているが、タイトルがさく

らまつりであるため、メインイベントの入部行列を取り上げるなど、さくらまつりとの関連性があれば良かったと思いました。せっかくなので訪れた観光客の感想もあれば良かったと思いました。

**菊池タキ委員：**

自分も語り部をやっているとして、お客様に何を言っているかストーリーがわからないと言われたことがありました。普段使っていない言葉を聞くことは違和感があると思います。ストーリーがわからないとつまらないのではないかと、標準語ではなく普段使っている遠野の言葉でストーリーがわかるようにお話しています。今回の放送は語りをしている自分でも聞き取れない部分があったので、字幕を入れた方が良かったと思います。雰囲気はすごく良かったです。

さくらまつりですが、2人で掛け合いするのであれば、遠野南部入部行列の歴史のことも言ってもらえれば良かったと、場面が蔵の道、鍋倉などにすぐ切り替わり、展開が早すぎて、初めて見る方はわからなかったと思います。

**立花和子委員：**

遠野物語の堀切さんのお話、雰囲気すごく良かったと思います。語りを伝えたいという気持ちが伝わってきました。ただ、語り部なので小学校に語りを教えに行っていますが、簡単な話でも今使われていない言葉がいっぱいあるので、子ども達はよくわかりません。あらすじをテロップか何かで流してくれば後は雰囲気で良いと、語りをしていてその人のリズムが伝わるのが一番大事だと思います。赤ちゃんを寝かせる時も意味は通じませんが、心地よさを感じて昔話を聞いて育つわけですので、これがそもそもの原点だと思います。年を重ねて意味がわかれば良いと思いますので、あらすじをテロップにして雰囲気は壊さないでそのまま伝えていければ遠野らしさが持続できるとうれしく思います。

まちなびは、この1回だけを見てどうのこうのというのは難しいかなと思います。いろいろな人がいますので、そのときの見た人の感想を必ず少しずついただくと、撮った人も参考になるし、見た人も私と違った意見もあると感ずることが出来ますので、先のことにつなげていくためにヒントを皆様からいただいて取り込んでいけたら遠野テレビの成果に表れると思います。

**小笠原康友委員：**

遠野物語は聞いていて、遠野生まれで70歳以上になるけども、ちょっと理解できないところがあった。やはり、字幕があれば良かったと思います。

まちなびは、2人の掛け合いが多く、さくらまつりの紹介が少ないと感じました。

**菊池豊委員：**

遠野物語は、ぱっと見た感じでは暗く感じたが、遠野物語はそういうイメージが強いので良いと思います。遠野物語の中身は、分からない部分がほとんどなので、番組等でさらに中身の特集をすることもあって良いと思います。

遠野ナビは、私の生まれが遠野であるため、街の裏側まで映していたので、上郷に離れて40年経つが、かなり街の様子が変わってきているなど感ずることができました。テレビで街をぶらついてグルメを巡る番組がかなり増えてきているので、若い人向けに良いと思いました。

**菊池保夫委員：**

まずは、編集を頑張っていると感じました。今の時代、遠野物語の本を読む人が少ないですから、有意義な番組だと思いました。ただ、他の委員

からも話があったとおり、字幕やあらすじなどの工夫があれば良かったと思います。

遠野ナビは、明るい印象で良かったです。私自身、遠野に来る機会が少なくなりまして、どこに店があるかわからなかったのも、最後に地図を表示するとかすれば、市民の役に立つと思います。タイトルと内容のマッチングができていないように感じました。

**中村孝子委員：**

遠野物語が有名だよねと他県の方に言われたことがあります。私自身内容をわかっていないのが現状でしたので、すごくいい企画なので今後も継続して放送してほしいと思いました。それからCMをととても気に入っています。心が洗われるような感じがしています。

まちナビは、さくらまつりの馬に市長が乗っているのに気付きました。観光だからさくらまつりに関連した近くの観光地もご案内したのかなというふうに捉えました。新しい企画で良いと感じました。頑張ってください。

**菊池崇委員：**

語り部と遠野物語は、制作の意図として、テロップを入れずに語りだけで引きつける、最後まで見させるという映像努力がなされていたと思います。ライトの話も出ましたけれども、しゃべり始めて15秒くらいで、囲炉裏のアップを入れて、引きからアップにもって行って、飽きそうな時に右からの映像に移り、最後は引いたところで白くなって終わるとい、話の内容がよくわからなくても最後まで見させる映像努力がなされていたと思います。立花委員が話していたように世界観を味わうことをメインとして考えたプロの仕事だと思って観ていました。私も含めて日本人はテロップに慣れていますが、海外のテレビは、ほとんどテロップが出ていません。慣れていているということもあり、視聴者側からするとテロップがあれば優しいのは確かで、そのなか、テロップ無しで勝負してきたのですごいと思いました。いろんな委員の話参考に今後も制作してほしいと思います。

さくらまつりとまちなびのコラボ番組は、カメラ1台しかないなかで、多くの街を見せたいという制作意図がみられました。ナビゲーター2人と景色を織り交ぜてあれだけ紹介され、何を映したいのか何を伝えたいのか考えられ、プロの仕事だと感じました。私的には地上波のテレビと変わらないぐらいのグレードの高さだと感じております。よりよくするための委員の意見だと思いますので、委員の意見をチョイスしながら頑張っていってほしいと思います。

**議 長：**委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

マンガで遠野テレビに出たいという貴重な情報がありましたので、遠野テレビの新しい番組に役立てていただければと思います。

**佐々木浩章代表取締役専務：**

皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

遠野物語を今回着手したのは、コロナ禍になりまして、地域密着としての遠野テレビとして、市民の皆様がこの時間を有効に使っていただくためには、遠野の本来の文化を観ていただくことが必要と思いました。それでみんなで話をしたところ、すばらしい語り部がいるにも関わらず、その方々達の映像素材が残っていないことを反省しました。語り部はご高齢の方々が多く、コロナ禍の命の尊さについて思ったときに、生の声をしっかり残そうということから始めることにしました。遠野物語を今まで撮れなかった理由としては、挿絵やあらすじを入れなきゃいけないとか自分達で

敷居を高くしてしまい、本来の語り部の雰囲気を残せなかったのが最大の反省点でございました。今いらっしゃる語り部の方々が持っている想いをしっかり撮って残そう、そして残したうえで、皆様からお話のありましたとおり、次の段階で挿絵とかあらすじ、テロップなど検討して参りたいと思いますが、遠野物語の伝承をどういった形で残すべきか難しいなと感じました。今回の語り部の方々は一生懸命勉強していただいて、収録も緊張しながら行っていただきまして、これを1つの軸にしたうえで皆様からご意見賜ったことを参考としながらいろんな方々に理解してもらえるように制作に取り組んでいきますのでよろしく願いいたします。

さくらまつりは、新たな挑戦でした。いつもは収録後1ヶ月後に放送するのが精一杯でしたが、コロナの影響もあり開催できなかった経緯もありますので、放送して連休中にまちなかに出てもらえるやり方として、さくらまつりの時に制作スタッフはみんな踊りなどの収録もありましたので、最少人数と出演いただいた二人で収録しました。最初に城下町資料館で南部氏遠野入部行列の歴史や意味について収録しました。今回の視聴では1時間半の番組を6分に編集したため伝えることができませんでしたが、1時間半番組を4月29日撮影して5月1日から放送したものになりました。踊りの部分は、その後に特集として放送しました。全体構成を上手くお伝えできず申しわけありませんでしたが、貴重な意見を生かして頑張りますので今後もよろしく願いいたします。

**議 長：**佐々木専務の言葉からも、新しい挑戦を感じる番組だったと思います。皆様からいただいた意見は肝に入ったようですので、次を楽しみにしたいと思います。  
市長が次の予定があるため退席されますので、一言ご挨拶いただきます。

**市 長：**今日はありがとうございました。とっても楽しい会議で、これぞ遠野テレビの審議会というふうに感じました。褒めていただき、そして厳しいご指摘もありがとうございました。さらに挑戦は続くと思います。例えば会長は、座敷おやじという別名もあるので、座敷おやじが案内する遠野の飲み屋が登場してもおもしろいと感じました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

**議 長：**ご意見ありがとうございました。皆さんが座敷おやじとしてそれぞれ地元をPRするのもおもしろいですね。皆様、審議会にふさわしい忌憚のない意見をありがとうございました。

## (2) その他

**議 長：**事務局から何かありますか？

**事務局：**なし。

**議 長：**皆様からは何かありますか？

**千葉真由美委員：**

要望になりますが、遠野タイムの番組内でもオリジナル番組の告知をしていただいておりますが、制作したオリジナル番組の放送時間を市民に伝えないともったいと感じますので、遠野テレビのガイドやチラシ、市広報でも告知したほうが視聴率はもっと高くなると思います。

**佐々木浩章代表取締役専務：**

制作した自主放送を皆さんにどうお伝えしていくかは課題としてありましたので、チラシのなかで自主放送をPRするなど検討して参ります。貴重なご意見ありがとうございました。

## 6 その他

※佐々木情報推進課長補佐が配布資料に基づき、市公式LINEの開設、インターネットの新プラン（E・Fコース）について紹介した。

**議長**：これで審議を打ち切ります。

初めての議長の進行にご協力ありがとうございました。

## 7 開 会（情報推進課長）

以上で、第1回遠野テレビ放送番組審議会を閉会させていただきます。 本日はありがとうございました。